

# 2021年度 学校関係者評価報告書

学校名：東海工業専門学校金山校

## 1 学校目標

- ・地域社会貢献のための新事業の検討
- ・教職員の意識、行動の更なる活性化
- ・目標、プロセスの見える化の推進
- ・経営の効率化
- ・広報力の強化
- ・国際化の取り組み

### 学校目標に対する評価・意見

- ・全体的にはとても厳しく自校の評価をしており、学校目標に対して高く評価できる。
- ・コロナ禍でも学生募集は良好で、建設業界と協力しながら人材確保を行っている。また、教職員が業界の状況を理解し、一体となって目標に向かって進めており、高く評価できる。
- ・学内広報研修を行うことにより女子学生の増加(業界の入職促進)を意識した高校訪問の展開は継続的に行って欲しい。
- ・教職員と学生の距離が近いという校風で、教育活動・各種施策を推進しており評価したい。
- ・教職員と学生の関係は「師弟関係」であることを全教職員が自覚し、愛情ある厳しい指導がとても良い。
- ・教職員のコンプライアンス意識の向上については、研修会参加経費を計上する等の取り組みについては評価できる。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策もしっかり取り組んでおり、高く評価できる。

## 2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた取組みが適切か	今後の改善方策が適切か
(1) 教育理念・目標	3.8	3.8	4.0
(2) 学校運営	3.6	3.8	3.6
(3) 教育活動	3.6	3.8	3.8
(4) 学修成果	3.4	3.4	3.6
(5) 学生支援	3.6	3.6	3.6
(6) 教育環境	3.4	3.4	3.6
(7) 学生の受入れ募集	3.8	3.4	3.6
(8) 財務	3.8	3.8	3.8
(9) 法令等の遵守	3.6	3.6	3.8
(10) 社会貢献・地域貢献	3.2	3.2	3.4
(11) 国際交流	3.4	3.2	3.4

### 3 今後の改善意見

- ・重点項目となるビジョンを示し、それを実現すべき中長期の計画を策定する取り組みが必要である。
- ・建設分野で要求する人材像を明確にし各学科の科目内容を整備後、第三者評価制度への計画準備の推進が必要である。
- ・業界や地域社会に対するコンプライアンス体制の確立とその遵守についてのチェック機能の構築が必要である。
- ・最先端の知識や技能を修得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが必要である。
- ・18歳人口減少に向けた少子化対策の一環として、女性の活躍を紹介して女子学生の募集強化を継続させる必要がある。
- ・学生の勉学意欲や社会人となるための心構え、職業意識の更なる向上を図る必要がある。
- ・社会貢献・地域貢献の一環として、地域に対する公開講座や教育訓練（資格取得講座）を積極的な取り組みは必要である。

### 4 今後の具体的な改善方策

- ・各ビジョンの5年後の到達目標（学校目標）と、2021年からの年度目標を作成した。その目標に則り毎年実施していきたい。
- ・教育課程編成委員会で継続的に企業ニーズをヒアリングし、カリキュラム編成やシラバスの検討に反映させる。
- ・コンプライアンス体制の確立については、学園主催の「教職員研修」を活用し、各種法令に関して全教職員の知識を蓄え、更なる意識の向上を目指す。
- ・教員の教育力向上においては、情報化社会を迎えてBIM・CIM・建設ICT等の各種講習会に参加しやすい環境作りをする。
- ・業界最前線で活躍する著名人や卒業生の講話などを通し、業界動向や職業教育を取り入れた特別講義等を充実させる。
- ・起業した卒業生を招き講話や懇談会を実施し、学生の職業意識、起業意識の向上を図る。
- ・すでに連携協定を締結している各県測量設計業協会での講習会をさらに発展させるとともに、リカレント講座や資格取得講座を計画し開講させる。